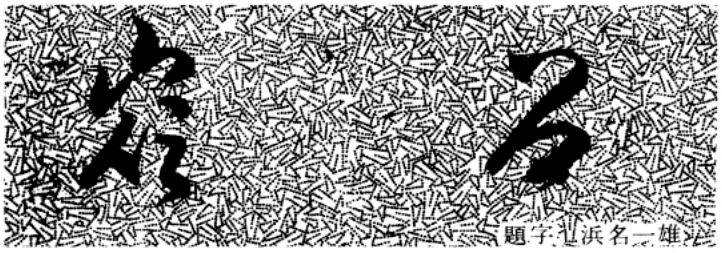


第53号　平成6年12月15日
発行者　群馬県山岳連盟
〒371　前橋市大手町1丁目1－1
群馬県庁観光物産課内
TEL　(0272) 23－1111　内線 3151
編集　群馬岳連編集委員会
責任者　羽野順一
印刷所　森田印刷

第五回山田昇記念杯 登山競争大会報告

総務部　千明政彦

平成六年十月二日（日）に第五回山田昇記念杯登山競争大会が開催された。例年は九月の最終日曜日に開催していたが、川場村の意向もあり、今大会は十月の第一日曜日に変更した。また前夜祭を大々的に十月一日（土）午後六時より開催することになったが、宣伝不足と初めてのケースということで少々人数的に盛り上がりに欠けた。

前夜祭の前半は八木原理事長の群馬に於けるヒマラヤ史の講演と、川場村の武尊太鼓を目と耳で満喫し、後半は数々の料理とお酒を喉で満喫した。

今大会の山田杯は百十五人（参加申込数百三十七人、欠席者二十二人）。三枝賞には七十六人（参加申込数八十八人、欠席者十二人）、一般の部は百三十七人（申込数百五十八人）、役員百四十人の総勢四百六十八人の大会となった。

昨年同様午前六時よりキャンプ場下の駐車場で受付及び計量を行い、七時より開会式を挙行した。初めに大会委員長の八木原岳連理事長が開会の挨拶に立ち、次いで大会々長である星野光岳連会長の地元川場村の協力に対する感謝の言葉も含めた挨拶があり、その後地元川場村々長横坂太一氏の歓迎の言葉と、大会顧問の中曽根弘文参議院議員の挨拶、とつづき、高田競技部長の説明及び注意があり、開会式を終了し、各選手はマイクロバスでスタート地点へ向かった。

山田杯優勝の山田豊選手のゴール

山田杯は八時三十分。三枝賞もてお願いしたので、接待班の作業が少々楽になった。

八時四十分にそれぞれスタートした。昨日から雨が夜半まで続き、コースコンディションは不良になっている。ゴール地点では審判部の入念な準備が始まり、ゴール前に今大会から使用するスポーツタイマーも設置された。さながらマラソン大会のゴール場面を見ているようだ。また本部前では例年通り、おでん、とん汁、マスの塩焼、りんご、ビール、又恒例の山田りんご園より豚の丸焼きも準備された。昨年と違って、おでん、とん汁、役員の弁当をホテルSLに一括し

時間も経過していく中で、時折無線からの連絡による通過タイムの速報が掲示板に記されるが、コースが荒れているためにタイムが伸びない様子だ。

十時四十三分四十八秒に二年連続チャンピオンの山田豊選手が三連覇のゴールへと飛び込んでくる。

三枝賞表彰（優勝田中君中、左2位小池君、右3位鳳沢君）

やはり昨年のタイムには及ばない。タイムは二時間十三分四十八秒。第二位も昨年同様の藤巻輝行選手が二時間二十分十秒でゴール。第三位は石井龍男選手の二時間二十六分二十八秒。

三枝賞の部は二時間四十七分四十八秒の田中正樹選手（安中実業高校）。第二位は小池藤夫選手（中之条高校）の三時間二分三十七秒。第三位は黒澤利美選手（安中実業高校）の三時間五分十九秒であった。

本部前ではゴールした選手達がビール、マスの塩焼、豚汁、りんご等で疲れを癒していた。

午後三時三十分には閉会式を行い高田競技部長の講評、松田審判長が成績発表をし、各賞の授与が行われた。今年も昨年同様大勢の参加者へ山田杯、三枝賞を始め、トロフィー、賞状、沢山の賞品が用意され、最後まで盛り上がった。

その他、大きなけが人は出なかったが、三枝賞の部で水上側に下りた選手（前武尊にて失格後）が出て、捜索の出動となり事無きを得たが今後の課題となった。

最後に今大会を開催するにあたり大変な御協力と御支援をいただいた地元川場村をはじめ、後援をしていただいた各種関係機関と団体及び各社に感謝し、広告協賛に協力願った各社には本当にありがとうございました。又、地元沼田山岳会を始めとして、次ページの大会役員に記した大会々長の星野光岳連会長以下の岳連関係役員の方々には大変御苦労様でした。

山田昇記念杯（山田杯）成績表

順位	タイム	氏名	性別	年令	
1	2時間13分48秒	山田　豊	男	47	群馬
2	2時間20分10秒	藤巻輝之	男	30	山梨
3	2時間26分28秒	石井龍男	男	42	千葉
4	2時間31分11秒	大山洋次	男	36	群馬
5	2時間33分10秒	佐藤清春	男	22	東京
6	2時間36分39秒	松本博明	男	38	群馬
7	2時間37分05秒	粕川嘉久治	男	43	〃
8	2時間37分39秒	田村とみ江	女	32	〃
9	2時間39分06秒	星野龍史	男	26	〃
10	2時間41分01秒	木田幸二	男	33	山梨
11	2時間50分40秒	石井幸志	男	22	神奈川
12	2時間52分41秒	萩原秋男	男	39	群馬
13	2時間54分37秒	岡田聡志	男	21	山口
14	2時間55分05秒	山田慎一郎	男	24	千葉
15	2時間55分30秒	高橋洋平	男	20	神奈川
16	2時間57分36秒	阿部源	男	41	群馬
17	2時間59分09秒	デニス・オコーネル	男	26	埼玉
18	2時間59分15秒	綿貫剛	男	22	群馬
19	2時間59分31秒	大堀努	男	29	〃
20	2時間59分57秒	坂田優人	男	59	神奈川
21	3時間00分27秒	山本信介	男	29	群馬
22	3時間00分43秒	新井伸栄	男	28	〃
23	3時間03分44秒	中澤安信	男	51	〃
24	3時間05分23秒	法領田恵	女	34	〃
25	3時間07分46秒	松原憲治	男	21	山口
26	3時間08分58秒	斎藤裕嗣	男	19	東京
27	3時間12分06秒	須藤真	男	36	群馬
28	3時間12分15秒	瀧川二士男	男	36	〃
29	3時間12分30秒	荒木宣夫	男	52	東京
30	3時間12分42秒	松井洋一	男	33	群馬
31	3時間13分11秒	鎌田智樹	男	40	神奈川
32	3時間15分14秒	清水真一	男	57	群馬
33	3時間15分53秒	御山洋一	男	35	神奈川

山田昇記念杯（三枝賞）成績表

順位	タイム	氏名	性別	年令	
1	2時間47分48秒	田中正樹	男	17	安中実業
2	3時間02分37秒	小池藤夫	男	17	中之条高
3	3時間05分19秒	黒澤利美	男	16	安中実業
4	3時間08分08秒	高橋宏和	男	17	勢多農林
5	3時間08分49秒	冨沢彰之	男	16	〃
6	3時間09分03秒	飯塚富久	男	16	中之条高
7	3時間11分02秒	加部宣昭	男	16	〃
8	3時間11分38秒	田島崇行	男	17	高崎工業
9	3時間12分01秒	佐藤利雄	男	17	安中実業
10	3時間27分56秒	高橋泰司	男	16	勢多農林
11	3時間29分43秒	栗田季史	男	16	新島学園
12	3時間32分37秒	赤見順一	男	15	安中実業
13	3時間34分49秒	千木良孝祐	男	18	利根実業
14	3時間48分21秒	小林敬久	男	15	新島学園
15	3時間49分01秒	高橋良博	男	17	勢多農林
16	3時間52分33秒	深澤優	男	16	安中実業
17	3時間54分50秒	青木利幸	男	18	松井田高
18	4時間01分04秒	宮崎佳恵	女	17	吾妻高
19	4時間02分04秒	茂木紀博	男	16	渋川高
20	4時間03分31秒	清水健司	男	16	伊勢崎東高
21	4時間04分21秒	石井直也	男	16	沼田高
22	4時間05分58秒	千明崇弘	男	17	渋川工業
23	4時間09分44秒	山田剛広	男	16	中央高
24	4時間10分48秒	千喜良孝行	男	17	利根実業
25	4時間11分26秒	花房愛	女	16	吾妻高
26	4時間12分51秒	宇佐美直子	女	16	安中実業
27	4時間15分02秒	田中清光	男	15	〃
28	4時間15分40秒	奈良諭	男	17	渋川工業
29	4時間16分00秒	荒井世梨子	女	15	吾妻高
30	4時間16分21秒	小野孝之	男	15	渋川高
31	4時間16分43秒	寺島一樹	男	15	中之条高
32	4時間22分13秒	鈴木広美	女	16	渋川女子高
33	4時間22分22秒	石川光裕	男	17	伊勢崎東高

第5回山田昇記念杯登山競争大会役員

大会会長	星野　光
大会副会長	横坂太一・石井謙一郎・田中成幸・富山　真・悴田正也
顧問	中曽根弘文・樋口　熙・西田治司・荻野正明・小澤貞夫 丸山基紀
参与	小林次郎・比護澄雄・荻野　弘・今泉栄一郎・布施正昭 五十嵐一夫・渋沢真一・中原正喜・加藤藤夫・月岡武久 寺島鐵雄・吉田茂作・田中壮佶・堀口保治・池澤常平 （以上岳連参与）
大会委員長	八木原圀明（ミヤマ）
大会副委員長	高田政美（登高会）・松永幸雄（沼田）
総務部長	女屋等志（ミヤマ）
総務部副部長	千明政彦（ミヤマ）
総務部	西山年秋（沼田）・関　剛芳（沼田）・水野金太郎（沼田） 大澤　清（高体連）・千明長治（片品）・星野錦作（片品） 五十嵐一夫（参与）・千木良純一（川場村観光協会）
記録班長	須田栄一（むすび）
記録班	長谷川　勇（中之条）・高橋征三（むすび）
渉外班長	名塚秀二（前橋）
渉外班	吉田秀樹（桐生）
式典班長	笠原伊勢雄（前橋）
式典班	富山　真（太田）・岡安茂能（高体連）・羽野順一（境） 桑山沢江（大間々）・吉田文江（桐生）・久保塚みゆき（大間々） 関　美和子（沼田）・斉藤美穂（沼田）・高橋はるみ（沼田）
接待班長	吉田勝利（桐生）
接待副班長	石川　忍（桐生）
接待班	山田　豊（沼田）・竹沢正道（登高会）・星野芳寿（沼田） 田中其子・真庭孝子・本藤賢一・本藤繁子・坂本明子 町田時子（中高年）・関根伝平（登高会）・黒岩令子（むすび）
競技部長	高田政美（登高会）
競技部副部長	竹山繁男（独峰会）
競技部	坂口喜久雄（大間々）・土屋邦夫（登高会）・斉藤　健（登高会） 高橋太郎（高体連）・佐藤光由（ミヤマ）
前武尊班長	堀越利通（登高会）
前武尊副班長	吉田　満（高体連）
前武尊班	松村定樹（前橋）・柴田好久（前橋）・結城雅則（登高会） 黒岩三郎（登高会）・町田幸男（太田）・松崎宣行（ミヤマ） 大和　亨（境）・鹿田雄三（高体連）
沖武尊班長	茂木　稔（独峰会）
沖武尊副班長	矢内勝己（大間々）
沖武尊班	武井孝広（大間々）・山田政巳（前橋）・弥野光一（ミヤマ） 中井雅彦（高体連）・西村琢巳（高体連）・角田政子（沼田） 川田明美（沼田）
西峰班長	清水裕千（むすび）
西峰副班長	柳沢　章（沼田）
西峰班	木村正巳（松井田）・亀井ひろ子（境）
審判部長	松田龍彦（前橋）
副審判部長	角田二三男（高体連）
審判部	高橋守男（高体連）・小暮文博（高体連）・寺崎　保（高体連） 吉井広始（高体連）・酒井幹代（前橋）・後藤真人（前橋）
通信部長	新井邦光（高崎）
通信部副部長	福田純一（大間々）
通信部	大島正男（高崎）
医療救護部長	田中壮佶（参与）
医療救護副部長	須永敏夫（境）
医療救護部	江袋光枝・吉田玲子・千木良悦子（以上多野総合病院）
設営輸送部長	松永幸雄（沼田）
設営輸送副部長	小野正純（沼田）
設営輸送部	丸山正捷（登高会）・宇田川邦司・木内健一郎・大竹房雄 馬場恒康・梁瀬佐市・和南城誠人・清野啓介（以上沼田） 清水人志・神戸　誠（以上ミヤマ）
一般参加の部長	小林次郎（登高会）
一般参加副部長	中嶋登良次（中高年）
一般参加の部	吉家　隆・恩田　登・増田弘道（以上中高年）・篠原敏雄 内藤　保・井上成実（以上境）・萩原俊彦（前橋）・星野照夫 杉山鉄夫（以上片品）

第十八回 県民登山大会報告

平成六年十月三十日（日）に桐生市梅田町で第十八回県民登山大会を開催した。昨夜からの雨が心配であったが何とかあがり、まあまあのコンディションで開会式を迎えることが出来た。

今年は桐生山岳会の担当でコース調査、整備等の準備を行ったが、なかでも根本山、野峰のコース調査を細かく地図に記していただいたので、一般参加者への説明にも大いに役立てることが出来た。

参加者は一般参加が百二十名、役員は六十名の総勢百八十名の大会となった。

青少年野外活動センター前にて、午前七時より受付を開始し、七時三十分より開会式を行った。星野岳連会長の挨拶と地元青少年野外活動センターの小堺所長の歓迎の言葉があり、また野外活動センターの多大な協力に対して、山岳連盟より感謝状が贈られた。次いで八木原大会委員長より挨拶ならびにコースリーダーの紹介があり、参加者がコース別に分かれた後、各リーダーが説明、注意点を話し、それぞれのコースへ向かった。

○　コース

Aコース

野外活動センター――根本沢林道――根本山――根本沢林道――野外活動センター。

Bコース

野外活動センター――池塘――野峰――池塘――野外活動センター駐車場。

今年は人数的に楽な編成を組む事が出来たので各コース共、スムースに運営出来た。

曇り空のためか、周囲の山々の眺望がいま一つであったが、色付いた秋の紅葉を満喫し、午後三時前には全員無事下山して、恒例の美味しいなめこ汁で体を暖めた。

午後三時十五分より閉会式を行い、八木原大会委員長の講評で第十八回県民登山大会を無事終了した。

記　総務部　千明政彦

開　会　式

第四十九回 わかしゃち国体山岳競技

国体部長　町田幸男

第49回わかしゃち国体山岳競技は愛知県の鳳来、設楽、東栄の三町を会場とし、十月二十八日～十一月二日の間開催された。今年は成年男子と関プロを通過した少年女子の二種別のみの出場であった。

競技日程は、成男が登攀・踏査・縦走、少女が踏査・縦走の二日間の順で進められた。本大会では登攀に、完全な人工ボードを使用したことと、成男の踏査を一日で行ったことが大きな特徴と言える。

登攀会場は、やまびこの丘キャンプ場に建設された。高さ三十三米のフランス製ボードで総工費約三億円とのこと。男子ルートは初見であれば概ね5・11程度で、プロによる設定である。中間部にテラスがあり、下部はほぼ垂壁で、二段のハング通過がポイントである。上部は垂壁で始まり、終了点までの約七米がすべてオーバーハングとなっている。ホールドはそれほど細かくないが、下部で腕力を使いはたしているとかなり厳しいピッチとなる。配点は技術点二十、時間点八十であるが、今年は今後線上公開の方向にあり、本大会前のコース公開については、トップ、セカンドとも完登出来なくも到達位置により得点できる様配慮されていた。

一位は長野県で二分四十八秒といった好タイムを出し、地元を押えての優勝であった。トップ大山、セカンド赤松の両名は、完登したものの二十二位に終った。

群馬チームのゴール

競技実施基準改定に伴い、踏査競技では、新項目が目立った。ひとつには設問が廃止されたこと。得点配分が時間点二十、定点八十となり、定点でのウェートが重視される様になった点である。この為、定点の数は16ポイントとなり、非常に困難であり、当然どのチームもポイントにおいてはパーフェクトを狙う結果になる。不幸にも群馬県チームは成男、少女ともボイントを落としており、成績は火を見るより明らかであった。尚、大会前のコース公開については、今後線上公開の方向にあり、本大会では今まで以上に絞られたエリアで公開であった。又、成男については全隊を半分に分け、二日間にて踏査競技を行っていたのを一日で終了させたことは競技としての公平さが確立されて来た結果と思われる。

会場近辺には高い山が見当らず、縦走については全般に高度差が少なかった。その為、チームでの負荷が五kg増した。更にスタートから特区間の半分に当たる約二kmの確立されつつある国体へ出場しろ林道が設定された。勝敗は林道をいかに走りきるかで決まった。この様なコースの場合、重い荷を背負い長時間歩くと言った本来の縦走タイプの選手には不利の様であるが、今回から少年の天気図審査が廃止となり、特区間タイムのみの得点となったことも基準改定の一項目である。

種別総合では成男二十五位、少女十位に終った。特に成男については近年になく悪い結果となり、監督として又、新任の委員長として深く反省しております。

最大のポイントはやはり体力の不足であり、三人のレベルがそろっていなかったことと思う。特に赤松については、六月に踵を骨折し、又、大会間近での体調不調が重なり、本来の力を発揮できなかった点は大きなマイナスとなった。しかし、交替選手もおらず結局山田、山田への負荷が増えてしまった。又、タイム的に見ても去年に比べ、上位での差がつまっており、競技性が増している様に感じられる。

他県選手を見てもランナーの参加が明らかに増加していることからもこの傾向がうかがえる。

開催県及び次期開催県は別として、毎年入賞している県を見ると、国体に対する競技としての見方、割り切りがかなり確立されている様に思われる。現に他県選手は普段の「山登り」はほとんど行っておらず、一年を通じてトレーニングに励んでいる。山登りをしたくて入会して来た者に、競技としての確立されつつある国体へ出場しろ林道が設定された。勝敗は林道をと言うのはかなり無理があるのではないだろうか。トレーニング方法が悪いとか、意気込みが不足しているとか良く聞くが、たしかにそれもあるだろう。しかし、根本的に不足していることは組織として選手を育成しようとする体制が確立されていないことではないだろうか。理事長も言われた通り、まずは強豪県の真似で良いから、如何にしたら強い選手を養成でき、入賞を定着させられるのか考えて行きたい。その為、多くの人の意見を聞き、小さな事でも実践し、国体委会と共に、改善を図りたく思います。

最後になりましたが、国体出場に当っては多くの皆様に、さまざまな応援いただいた事を、この場をお借りして御礼申し上げます。

成年男子　監督　町田幸男（太田）
選手　大山洋次（境町）
　　山田　豊（沼田）
　　赤松久宇（太田）
少年少女　監督　西村琢巳（吾高）
選手　宮崎佳恵（吾高）
　　花房　愛（吾高）
　　浅井聖子（渋女）

成績

成年男子
登攀22位、踏査30位、縦走21位、総合25位

少年女子
踏査9位、縦走12位、総合10位

以上文責　町田幸男

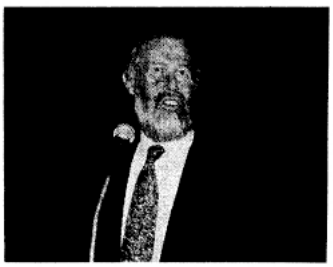
技術と信用で地域社会に貢献する
総合建設業
萬屋建設株式会社
取締役会長　星野　光
本社　群馬県沼田市下之町880番地　TEL 0278(23)4648(代表)
支店　東京都豊島区東池袋4－2－7　TEL 03－985－7631

クリス・ボニントン氏を迎えて

海外登山部長　名塚秀二

サガルマータ南西壁の冬期初登攀を記念して、一九七五年の秋に初めてこの南西壁を登ったイギリス隊の隊長を務めたクリス・ボニントン氏を日本に招いて講演を行なってもらった。

九月十二日に来日、その夜スポーツニッポン新聞社主催による歓迎会と映画「世界初、雪煙に舞った男たち」の試写会及び写真集「厳冬のサガルマータ、究極の挑戦南西壁」の出版記念を東京プリンス（メンバーが無難な所）で谷川の一ノ倉南稜と決めた。



ホテルに約二〇〇人を招いて盛大に行なった。主催のスポーツニッポン新聞東京本社、牧内節男会長より「これは大きな財産だ。世界に誇る優秀な登山家を日本が、群馬県が持っていることを世界に示した。」とあいさつし、C・ボニントン氏より「私達の七五年の時はメンバーそしてシェルパを大勢使って登ったルートを、登攀隊員七人で、しかも冬に十八日間で登ってしまうとはすばらしい。」と感想をのべてもらう。

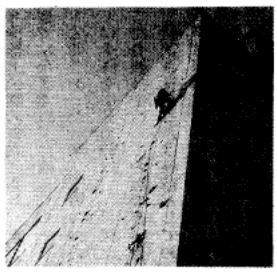
翌十三日、東京都勤労福祉会館に立ち見まで出る盛況ぶりで前日と同じ様なかたちで行なった。

C・ボニントン氏は日本に来るに当って登攀用具を持参して来ており、「日本の岩場をどこか登りたい。今でもトレーニングをしているので五・九位のルートは大丈夫。」と言う事なのだが、受け入れる私達メンバーが、普段あまりトレーニングをせず酒ばっかり飲んでいるので、とても五・九のルートとはいかず、それでもせっかく群馬に来るのだから、無難な所

十五日、南稜テラスに着いた時いくらか雨が降ってはいたが、登攀に支障をきたす程ではないので行きたいと考えている。

ロックフェスティバル　IN　サティ

岳連主催の毎年恒例となっているロックフェスティバルが十一月十三日（日）に、「ロックフェスティバル94 IN サティ」と題して



沼田市サティにて開催されました。

当日は七五三で着飾った子供達四位松崎　宣行27ミヤマ決勝6H
五位　原澤　茂34登高会決勝8H
六位　山田　豊47沼田　決勝8H

女子

一位　林　加織20沼田　決勝8H
二位　田村とみ江31沼田準決勝完登

※行事予定

来年二月五日に松木沢にて氷壁技術講習会が行なわれます。岳連会員の皆さんに多数参加を御願いします。

記　登山指導部長　阿部　源

谷川岳にて救助訓練

平成六年九月四日谷川岳にて救助隊定期訓練を実施する。

白毛門出合に六時集合。東黒沢のハナゲの滝上部にて救助訓練。

参加者が少ないので、ザイルによる操作を修得。内容としては特

の好意により、提供していただいた賞品の山分けとなる。ザイルやザックなど遠慮するふりをして、しっかりと良いものを選ぶという楽しい秋の一日でした。

競技結果

一位　山田重之31沼田　決勝完登
二位　梁瀬佐市36沼田　決勝3T
三位　綿貫　剛24沼田　決勝4H

記　遭対部長　新井邦光

95カレンダーについて

九五年度岳連カレンダーが出来上り、十月三十日の県民登山大会の折、各会へ配布し、販売のお願いをしました。

これまでは各会へ一方的な販売のお願いで、何のメリットもありませんでしたが、本年製作分については一梱包（三十部）に付き一部謝礼の意味で進呈させていただきました。

今後の作業は印刷会社への支払いと共に配布をした各会からの集金ですが、期日までに代金の納入をしてくださいますようお願い致します。

一段落しましたら早い内に次年度のカレンダー製作の準備に入りますが、毎年限られた人達の作品応募のため、より素晴らしい作品にするためにも広く各会の方々の作品の応募をお待ちしております。

尚九五年カレンダーはこれまで通り二千部作りました。

※カレンダー代金振込先

群馬銀行中之条支店普通預金
口座番号〇五一〇四六〇
名義　群馬県山岳連盟事業部会
　　計　長谷川勇

受取人住所　吾妻郡中之条町中之条四九一三
電話〇二七九－七五－二七四一

※振込期日

平成六年十二月十五日（木）以上文責　事業部　長谷川勇

参加者は十一名であった。

美と健康のお手伝い
ブリジストン自転車
ナショナル自転車
ホンダのオートバイ
一流メーカーは安心です
サイクルショップ　ヤギハラ
前橋市下細井町139－3
TEL　0272－31－1308

有限会社 山とスキーの店　石井
DreamBOX
伊勢崎市宮子町78街区1819-1
TEL.0270-21-8025　FAX.0270-21-8026